

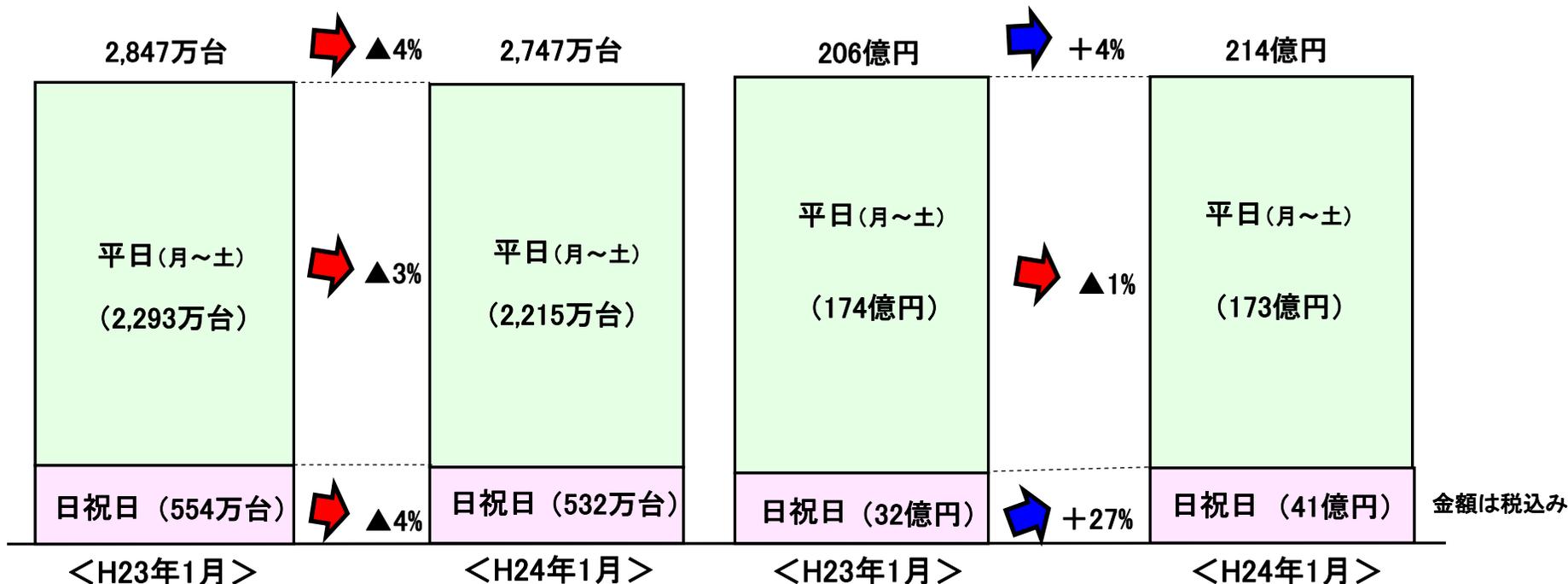
1. 平成24年1月の利用台数・収入の状況について

【速報】

- 利用台数は昨年と比べ4%減となった。
- 料金収入は昨年と比べ4%増となった。

【利用台数】

【収入】



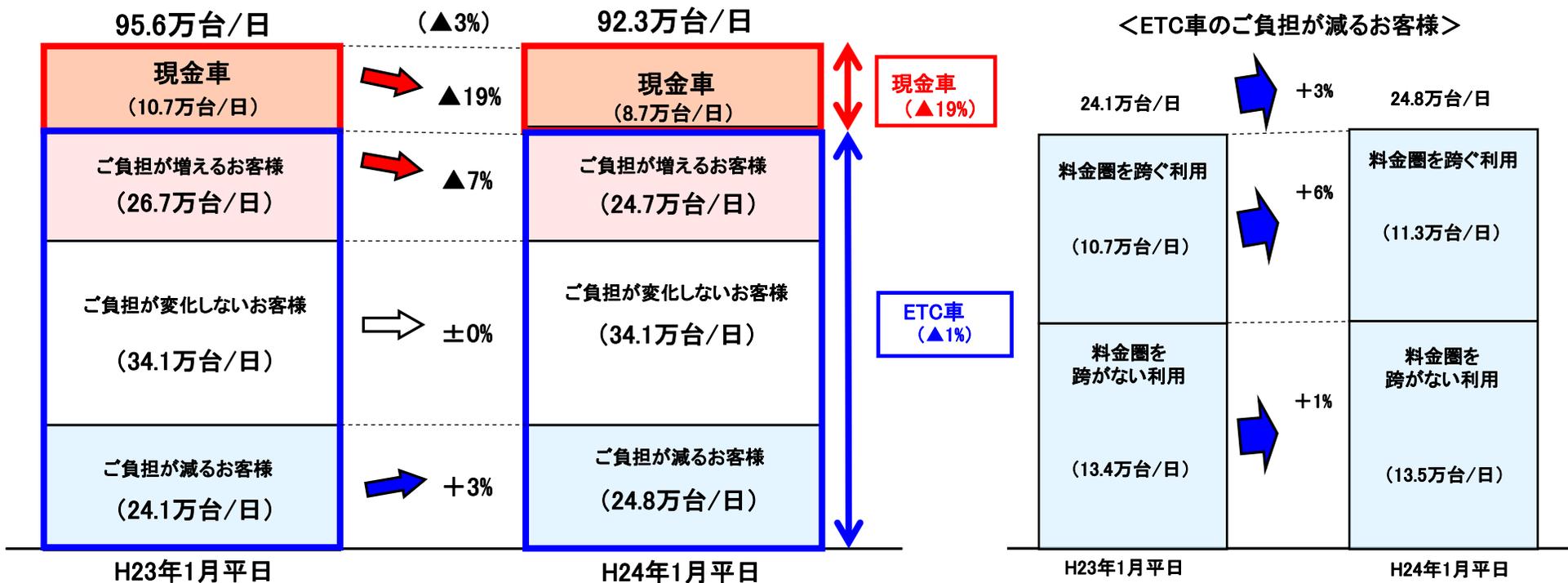
※ 年度比較を可能にするため、昨年の利用台数を料金圏撤廃と仮定。

2. 利用台数の状況(平日平均)

【速報】

- 平日の1日あたりの利用状況としては、ETC車は1%減とほぼ横ばいであるが、現金車は19%減となった。
- ETC車については、ご負担が増えるお客様は7%減となり、ご負担が減るお客様は3%増となった。
- 料金圏を撤廃したことに伴い、料金圏を跨ぐ利用は6%増となった。

○利用台数の状況(平日平均)



※土曜日を平日に含む

3. 料金圏撤廃による利用台数の変化

【速報】

➤ 料金圏撤廃により、旧料金圏境の断面交通量が旧東京線-旧埼玉線断面で約12%増加、旧東京線-旧神奈川線断面で約7%増加しており、料金圏を跨いで連続利用する交通が増加している。

○ 利用台数(旧料金圏境の断面交通量)(平日) ※土曜日を平日に含む

	地点	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
旧東京線-旧埼玉線 断面	美女木JCT付近	26,400台/日	29,500台/日	+12%
旧東京線-旧神奈川線 断面	羽田および浮島付近(合計)	125,700台/日	134,300台/日	+7%

○ 旧料金圏境における交通量の変化(平日) ※土曜日を平日に含む

